



サポートやお ボランティアだより

第86号
2021年3月20日

★発行 社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会、八尾市ボランティア連絡会
★住所 〒581-0018 八尾市青山町4-4-18 在宅福祉サービスネットワークセンター内



SA 連協 中ブロック おもちゃ交流会



“みなさんこんにちは。さっそく問題です。なにか人の役に立ちたい。それも無償でかまわない。さてなんでしょう？” わたくしボランティア放送局のレポーター

「興味しんしん子」と申します。今、私はプリズムホールの前に来ています。全面ガラス張りのカッコいい建物です。“えーっと、問題の答え、もうおわかりですね！ボランティアでした。(本当にすみません！)失礼しました”



今日は、11月28日(土)曇り空、気温12度、例年なら、みなさんはボランティア活動に勤しんでおられることでしょう。今年は、コロナの感染のため活動できなくなりましたが、ここに来て、ようやく感染も落ち着きを見せ、緊急事態宣言も解除され、世間に活気が戻りつつあります。

さあそんな中、4階研修室で、[シルバーアドバイザー(略称 SA)八尾・柏原]のみなさんが【おもちゃ交流会】を開催されるということで取材させていただきました。さっそく中に入っていきます。

【おもちゃ交流会】とは・・・

どんなことをするのでしょうか？

子供達に、おもちゃの作り方を教えるのでしょうか？”
研修室の前に来ています。ドアを開けてみましょう。

中の様子は気になります。ここで、CMをはさみます。

『私達 [シルバーアドバイザー八尾・柏原]の特徴は、メンバーが色々なボランティア資源を持っていて、それを仲間が助け合い、多様な活動をしていることです。その種類は、おもちゃ・押し花・折り紙作品・バルーン・ディスコン・マジック・将棋・おもしろ算数教室などがあります。活動は、高齢者施設、八尾市青少年課の依頼により小学生向けの各教室、ふれあいまつりなどです。参加者募集しています。』これでCMおわります。

こちら研修室の中ですが、子どもさんの姿は見当りません。その代わり、シニア世代の方々が男女合わせて26人、八尾市以外からも来ておられます。みなさんが作っているのは、なんでしょう。子ども達に大人気の首振り恐竜(トリケラトプス)です。段ボールの芯や割りばし・折り紙など使います。みなさん和気あいあいのうちに、嬉々として取り組んでおられます。バランスを上手にとるのが、難しいようですね。このように、コロナ渦の中でも、お互い学びあい、スキルを増やしておられます。素晴らしいですね！！

ボランティア活動が、社会の潤滑油の役割を担い、人々に笑顔が戻ってくる日を楽しみに待ちましょう。それじゃ～ またね(^_^)



出来上がりの作品

広がれボランティアの輪 ⑥5

シルバーアドバイザー(略称SA) 八尾・柏原

みなさん 喜びを 共有しましょう!!



私達は、

- ① 物作り(おもちゃ・小物・自然素材による小物・折り紙・押し花・バルーン)
- ② マジック・ディスコン・おもしろ算数教室・将棋同好会・ドッグセラピー・スリーA・書道など、平成15年以来、多様な活動をしています。
モットーは“無理をしない・信頼できる仲間作り・

助け合い・楽しく活動”です。会員のみんがが協調しあって、様々な施設訪問や行事に参加したり、行事を企画したり楽しんでいきます。

会の発足2年目に「30年余り柏原市で熱心にボランティア活動が続けている方が、入会を希望されている」と紹介を受け、会則を変更して平尾榮子さんをお迎えしました。入会後は、早速ボランティア資源となるディスコンの導入をなされ、幅広い活躍で、メンバーをリードいただいています。そして、昨年12月には柏原市の『介護予防サポーターズ』の副代表として、栄えある厚生労働大臣表彰を受けられました。一昨年の私達SA八尾・柏原の同大臣表彰の受賞に続き、大変光栄なことだと思っています。

私達は、参加の皆さんと触れあい、喜びを共有し、次の活動の元気を頂いています。

一緒に、ボランティア活動を楽しみませんか。

広がれボランティアの輪 ⑥6

八尾市ボランティア教育振興会

次代を担う子ども達と共に

1981年(昭和56年)の国際障害者年に生まれた八尾市ボランティア教育振興会は今年40周年を迎えます。この間、数多くのボランティアが生まれ、今も活発に活動を続けています。

今回はその中から、コロナに負けず、活動を行っている[FMボランティア部]を取り上げます。

[FMボランティア部]は、八尾市のコミュニティ放送である、FMちゃおを通じて、[FM子どもチャオの時間](昨年12月に240回放送。その後も記録を更新中)として発信をしています。

小学2年の時から関わり、大学1回生の今も引き続きアナウンサー活動をしているボランティアさんは「活動のおかげで積極的に物事に取り組む姿勢が身につきました。ボランティア活動を始めた当時、私はこんなに長く活動を続けることやたくさん後輩ができることは想像もしていませんでした」と述べています。また、「人前で堂々と発言することができて自信がついた」「アナウンサーがとても楽しく、ちょっとしたことが人のために



役立っていることがうれしい」「知らないことがわかりやすく自分の言葉で伝えられることがうれしい」などの意見も多くあります。

角田FMボランティア部長も番組がここまで続けることができたのも「子ども達に優しさと思いやりの心を持って、社会参加してほしいという願いを、子ども達が受け止めて、お互いに愛情をもってつながり、理解を深めあうことができたから」と仰っています。

[FM子どもチャオの時間]のこどもアナウンサーたちは、そこで培ったボランティア精神を礎に、自信と積極性を生かしてこれからも大きく活躍することと思います。

広がれボランティアの輪 (67)

子どもと遊びのねっとわーく 八尾



自分の責任で自由に遊ぶ



私達[子どもと遊びのねっとわーく 八尾]は、1997年より“自分の責任で自由に遊ぶ”のプレーパークの精神の下、毎月第3日曜日に森のプレーパークを信貴山のどか村への遊歩道途中の谷間で行っています。

毎回メニューを決めて皆でお昼ごはんとおやつを作って食べる事により、コミュニケーションを深め、色々な大人が子ども達と関わり、みんなで見守るという場所を提供しています。

ボランティアのほとんどは、自分の子どもに体験をさせたいという親なのですが、森のスペシャリストの方や学生さんがその時々に関わって下さり、フィールドは地主さんに、駐車場は恩智神社さんに、水はお隣さんに使わせてもらったりと、色々な方に助けてもらいながら活動をしています。

活動にご賛同いただける方、我が子を参加させたいと思われる保護者の方、楽しみながらボランティアしてみませんか？ 興味をもっていたいただいた方、ご連絡お待ちしております。



広がれボランティアの輪 (68)

手話サークル フレンド



共に歩んで20年!!



手話サークルフレンドの発足は2001年4月『自立生活センターやお』の手話講座の修了生の集まりでした。

手話が上手でも、そうでなくても、伝えたい気持ちを持って、共に楽しみ、共に学習しています。

「アツという間の20年でした。」サークルの新聞【フレンドだより】に寄せた香山会長の感想。そうです、記念の年でした。20周年実行委員がワクワクしながら様々な計画を練っていました。それがこのコロナ禍…。毎週木曜日の活動さえも休止。

7月2日再開時、役員が準備したフェイスガードが配られました(表情を見せることが手話では大切なので)。4ヶ月ぶりの再会に、みんな懐かしくてウキウキしていました。その後、3密を避けるため、広い部屋の確保、参加できる人数を減らすなど工夫を重ねています。

記念式典も簡略化され、体育館でソーシャルディスタ

ンスを守り、11月にやっと開催。記念品には真っ赤な防災リュックが渡されました。これは災害の時に、避難先で一目でフレンド会員と分かるようになっています。

これからも手話サークルフレンドは、「常にろう者と健聴者は共にあれ！」



2020年2月 撮影

ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティア保険の更新はお済みですか？

社協ボランティアセンターに登録しているボランティアさんが加入している「ボランティア活動保険」は、更新のご連絡が無ければ3月31日で補償期間が終了となります。手続きは、ボランティアセンターで行っております。



また、ボランティア活動中にケガや事故が発生した時は、速やかにボランティアセンターまでご連絡をお願いします。

♪『ハーモニカ風音』さんより♪

コロナ禍で何か出来る事を・・・と季節の曲を収録したCDの貸出しを始めました。お問い合わせは、ボランティアセンターまでお願いします。



令和3年度 開催予定講座

令和3年度 下記のとおり講座を開催する予定です。

- 夏のボランティア体験プログラム
- 傾聴ボランティア講座
- 精神保健福祉ボランティア講座
- ボランティアお試し講座
- 災害ボランティア講座



社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒581-0018

大阪府八尾市青山町4-4-18
八尾市在宅福祉サービス
ネットワークセンター内(サポートやお)

電話:072-925-1045

FAX:072-925-1161

syakyoyao@mth.biglobe.ne.jp

表

彰

〈令和元年度 厚生労働大臣表彰〉

・シルバーアドバイザー八尾・

柏原

◆社会福祉会館・サポートやおへの道順◆



(徒歩)
(社会福祉会館)
近鉄八尾駅より7分
JR八尾駅より10分

(サポートやお)
近鉄八尾駅・山本駅・高安駅よりいずれも20分

社会福祉法人
八尾市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒581-0018
大阪府八尾市青山町4-4-18
八尾市在宅福祉サービス
ネットワークセンター内(サポートやお)

電話:072-925-1045

FAX:072-925-1161

syakyoyao@mth.biglobe.ne.jp

メールマガジン

「やおボラNEWS携帯版」

<http://m.mag2.jp/M0073749>



地図